

青少協☆ タイムズU



「あいさつ運動」(二中)



「あいさつ運動」(鶴城小)



系統的・継続的に

会津若松市立第二中学校長
校長 渡部 朋史

継続して指導していたことが、大人になりようやく成果として見えてくる
ことがあります。子どもの頃から言われていたことが、いざという時の判断
材料になったり、行動基準となったり、ということはいくつもあることです。
今振り返ると、親から、学校から、そして地域から教えられてきたことは、
今の「あいづっこ宣言」の精神そのものだったと思います。学校で「什の掟」
について学びましたし、大人には、「だめなものはだめ。」と繰り返し諭され
ました。高校時代には、会津人としての心構えを指導されました。事あるご
とに、人としてどうあるべきかを考えさせられたことは間違いありません。
ここ会津若松市では、「あいづっこ宣言」を基盤とした教育が、各家庭、地域、
学校などで幼小時から行われています。他地区に住んで、改めて会津の教育
のよさを知ることもありました。ここで育ったあいづっこ子には、間違いなく、
人として正しい生き方を追求する気持ち根強く育まれていると思います。
もしかすると、今はまだその成果が見えない場合もあるかもしれませんが、
その芽は、少しずつ成長し続けていると信じています。

*

令和5年4月に着任いたしました。よろしく願っています。本校には、
教諭時代、平成3年度から8年間お世話になり、たくさん生徒、保護者・
地域の皆様、先生方に、教員として大きく育てていただきました。今回、再
度この学校に勤務することができてうれしく思っています。

本校でも、即効性だけを求めるのではなく、長期目標をもって、人として
大切なこと、正しい生き方を系統的・継続的に指導していきたいと思
います。教師一丸となり取り組んでいきたいと思っておりますので、これからもご家庭・地
域の皆様、鶴城地区青少年育成協議会の皆様のご協力・ご支援をよろしくお
願いたします。

第37回少年の主張会津若松市大会

〈小学生の部〉発表作品



一番大事なものは

会津若松市立鶴城小学校 6年生

吉田 彩夏さん

みなさんの一番大事なものは何ですか。私の大事なものは、犬のぬいぐるみ、思いの写真、吹奏楽部で使っているフルート、スマホ、お気に入りの服など、たくさんあります。しかし、どんなものよりも、もっとも大事なものは、お金で買えないものがあります。それは、家族です。私にとってかけがえのないとても大事な存在です。

私の家族は、一言で言うと、「とても明るい家族」です。お父さん、お母さん、お姉ちゃん、ふたごの弟の六人。お父さんは私のことが大好き過ぎてたまに困ることがありますが、私たちのことを大切に思ってくれている優しいお父さんです。お母さんは、毎日元気で家の中を明るくしてくれる。パワフルなお母さんです。お姉ちゃんは、私の悩みなどを聞いてくれる一番の理解者です。弟たちは、毎日けんかするし、毎日うるさいけれど、とっても仲良しでかわいい二人です。こんな家族に囲まれて私は毎日楽しく過ごしています。

この間、お父さんの誕生日には、家族全員でお祝いをしました。お父さんの顔写真を大きくしてお面を作り、みんなでそのお面をかぶってお父さんの帰りを待っていました。お父さんが帰ってきた時、玄関でチューチュートレインを家族みんなでおどりました。とても楽しくおふざけたっぶり

令和5年8月3日(木)に会津若松市文化センターにおいて、第37回少年の主張会津若松市大会が開催されました。市内小中学校の代表の33名の皆さんが、日頃感じていることや多くの人に聞いてもらいたいこ

にお父さんの誕生日をお祝いすることができました。

また、私のお父さんとお母さんは、学校で目立つ存在だと思っています。六月に行われたPTAレクリエーション大会では二人で選手せんせいをしました。目の前には、大きく「カンペン」と書かれた紙が用意してありました。会場は笑いにつつまれ、私は顔が真っ赤になってしまいました。私自身は基本的にはずかしがり屋なので、目立つことがあまり好きではありません。六年生の保護者の給食試食会があった時には、お母さんは、私が五年生の時に家庭科で作ったエプロンを堂々と着けていました。私ははずかしくて、お母さんに、「勝手に着ないでよ。」

と言うと、お母さんは、「いいでしょ、別に。」

とお姫様のドレスのように広げておどけていました。はずかしいと思う一方で、自分のため、兄弟のために学校に来て楽しませてくれることを、本当は有り難いなあと思っています。周りの人を笑顔にさせる両親の姿には、少しうれしい気持ちもあります。普段は絶対に言わないけれど、両親の元気なところが私は大好きです。

授業で先生に「家族と過ごす時間よりも学校で

と、夢や希望、社会への提言などを堂々と発表しました。

ここでは、鶴城小学校を代表して発表した児童の作品を紹介いたします。

過ごす時間の方が長い」と言われたのがとても頭に残っています。確かに、家族と過ごす時間はだいたい七時間、学校で過ごす時間は九時間、最近休みの日も友達と遊ぶことが増え、お姉ちゃんや弟たちも部活や習い事などで家にいることも少なくなり、家族でお出かけする回数も減りました。私は、お父さん、お母さんとこのことについて話してみました。すると、二人とも

「それが成長だから。」

と言って笑っていました。しかし、私にはどこかさびしうにも見えました。親はなれという言葉があるように、私もいつかお父さん、お母さんの元をはなれていかなければいけません。実際に高校卒業までと考えると、あと六年と半分くらい。日にちにすると、二千四百三十日くらい。時間にする。私自身は、「まだ六年もある」と思っています。私自身は、お父さん、お母さんのあ少しさびしうな姿からすると、多分、六年なんてあっという間なんだろうと思えました。今、当たり前だと思っている日々が当たり前ではないことに気付く日が来るのかもしれない。だからこそ、私は、そんな大好きな家族と今いっしょに過ごせる時間を本当に大切にしたいです。

私にとって一番大事なものは、家族です。兄弟が四人もいるのに、一人ひとりを大切にみてくれてありがとう。お父さん、お母さん、お姉ちゃん、ゆうま、とうま、これからもよろしくお願ひします。

3年生が「鶴ヶ城ガイド」に 取り組みました

鶴城小学校

3年生は総合的な学習の時間で、ガイドになって鶴ヶ城の魅力を伝えようと取り組んでいます。今まで調べたことをもとにして、実際に鶴ヶ城で観光客や地域の方々に案内をしてきました。

緊張しながらも、自分たちから声をかけることができた3年生は、とても貴重な学習ができました。鶴城学区内にある会津若松市のシンボル鶴ヶ城について調べて知ること、よりお城を身近なものと感じることができると感じました。

鶴城小学校経営・運営ビジョンの教育目標にある「郷土会津の生んだ先人の志と行動に学び、その精神を継承し、豊かな人間性と創造性を備えた『いきいきと輝く自分をつくる子ども』」達を、地域の皆さんも温かく見守って頂ければと思います。



「会津の宝プロジェクト」 地域課題解決学習に 取り組んでいます

若松二中

AICTに入っている企業に協力いただき、総合的な学習の時間で会津の魅力について意見を出し合い、会津の宝を持続していくために自分達にもできることは何かを考え、それをまとめ発表し合うことに取り組んでいます。

オンラインで東京在住の方にインタビューをしたり東京と会津を比較することにより、自然や食べ物、伝統工芸品、歴史的建造物や伝統的なイベントなど、会津のよさを再発見することができたようです。

発表会では、各班が会津イチオシの魅力などについて発表を行い、発表後の質疑応答では鋭い質問もありましたが、事前調査や自分たちの考え方がしっかりあったことで見事に対応していました。

この学習により身につけたい力は、課題解決力や意欲、課題発見力、情報収集力、プロセス理解、実行力や協働力、表現力やプレゼンテーション力、ICT活用能力と盛りだくさんです。自ら問題を見つけ、課題の追究・解決・探究を行う学習を通して、将来の会津を担うリーダーとして社会に貢献できる有為な人材が育つことを期待します。



東京との比較により
会津のよさを再発見

1時間目

会津の魅力について

付箋紙法を用いて、各班で整理



令和5年度 健全育成標語

入選作品を発表します。
鶴城小学校5年生のみなさん、ありがとうございます。

最優秀賞



見て話そう スマホじゃなくて
君の顔
一ノ瀬 唯人

優秀賞



「おはよう」で みんなにっこり
輝く地域
菅谷 咲帆



イライラを いじめで解消
もうやめて
渡邊 詩織



伝えよう 感謝の気持ち
ありがとう
坂内 心暖

佳作



いけないよ お金の貸し借り
仲間でも
馬場 達也



やってみよう かわすあいさつ
ほほえんで
中川 稜太



ありがとう 自然と言える
君は太陽
湯田 沙也佳



ごめんなさい 素直に言える子
すてきな子
横澤 初音

「大谷翔平選手のグローブ」

鶴城小学校にも届きました！

1月15日 この日の鶴城のつどいはリモートで行われました。

ざわざわした様子で教室のテレビを見つめる子どもたち。山岸校長先生が伝えたのは大谷翔平選手からのグローブが届いたニュースです。

鶴城小学校でも、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から贈られたグローブがお披露目されました。大谷翔平選手からは、「このグローブを学校でお互いに共有し野球を楽しんでもらうために、私のメッセー지를鶴城小学校のみなさんに伝えてもらえると幸いです。野球しようぜ！大谷翔平」とあったそうです。

鶴城のつどいのあと、玄関に展示してあるグローブを一目見ようと大勢の児童が集まりました。大谷選手の手サインがプリントされていることに喜びながら、さっそくグローブの感触を確かめていました。

児童からは、「本当に鶴城小学校にもグローブが届いてびっくりした。大谷選手からもらったので大切にしたい」、「早くこのグローブを使ってキャッチボールをしたい」との声がありました。

「大谷翔平選手は去年の末から県内の市町村に届き、各学校に配られました。会津は冬期間に入り寒いことから、学校ではしばらく展示のみで、春が来たら多くの児童たちの手に触れることになるでしょう。」

大谷翔平選手から届いたこのグローブでキャッチボールをして、それがきっかけで野球に親しむ児童が増えることを期待します。



大谷翔平選手からいただきました

令和5年度 事業報告

5	7	7	7	7	7	8	8	12	12	12	12	12	12	3
・23	・3	・7	・10	・18	・3	・24	・24	・5	・16	・14	・14	・22	・22	・1
鶴城地区青少協総会	朝のあいさつ運動	朝のあいさつ運動	児童安全確保連絡協議会	健全育成標語のぼり旗設置	少年の主張会津若松市大会	危険個所環境調査	朝のあいさつ運動	朝のあいさつ運動	健全育成標語選考会	広報部編集会議	健全育成標語表彰式	健全育成標語看板設置	健全育成標語看板設置	青少協タイムズ発刊
鶴城コメン	若二中	鶴城小	鶴城小	鶴城小	文化センター	学区内	鶴城小	若二中	鶴城小	鶴城小	鶴城小	鶴城小	学区内	

令和5年度 鶴城地区青少年育成協議会 役員

会 長	副 会 長	副 会 長	推 進 部 会 長	環 境 浄 化 部 会 長	広 報 部 会 長	庶 務	庶 務	会 計	監 事	監 事
渡 部 明	二 瓶 正	齊 藤 敏	遠 藤 綾	五 十 嵐 貴	村 澤 智	佐 藤 祐	五 十 嵐 太	篠 崎 理	森 武	丸 茂

編 集 後 記

少雪の今シーズンでしたが、昭和世代の私は冬でも半ズボンで元気に屋外を走り回っていたことを思い出します。「子どもは風の子、元気な子」という言葉は昔の話になってしまったのでしょうか。雪まみれで遊ぶ子ども達の姿が懐かしいです。

村澤 智